

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

- * 当院では、下記の臨床研究を実施しております。
- * 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。
- * 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合、また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- * 診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。
- * 研究はあくまで日常診療から集積された診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様へ何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名 (承認番号)	左腕頭静脈の血管径と肺塞栓との関連 2022-8
研究責任者の氏名 (部門)	丸山秀和 循環器内科
研究の対象者 (研究対象期間)	2012年4月1日-2022年3月31日の期間に肺塞栓の診断で、当科に入院となった患者。および肺塞栓症以外の疾患のため胸部造影 CT が撮影された患者。20歳以上で男女を問わない。
研究の目的	肺動脈に血栓が詰まる肺塞栓症 (いわゆるエコノミークラス症候群) の血栓源として下肢の静脈が考えられてきた。しかしながら下肢静脈に血栓が確認されない患者も多い。上肢の静脈の狭窄が血栓形成を誘発するのではないかと仮説を立てた。今後それらの狭窄を有する患者に対して血栓の予防措置を講じることによって、肺塞栓を未然に防ぐことを期待する。
研究の方法	肺塞栓患者とそうでない患者で、上肢の静脈の血管の血管径を比較する。上記期間に肺塞栓症と診断された患者、および肺塞栓症以外の疾患のため胸部造影 CT が撮影された患者における胸部 CT で胸郭内の上肢の静脈 (左腕頭静脈など) の血管径を比較する。
研究に使用される診療情報項目	年齢、性別、身長、体重、肺塞栓の有無、下肢静脈血栓の有無、胸部 CT が撮影された原因の疾患名、上肢の静脈 (左腕頭静脈など) の血管径、同静脈が狭窄している場合はその原因、肺動脈径、大動脈径、胸郭の前後径・左右径、すでに測定されている場合には BNP 値または NT-proBNP 値 (心不全マーカー)。
個人情報の保護について	被験者の ID 氏名、生年月日等の個人情報診療録より収集するが、研究者の外部に接続していないコンピュータで適切に管理し、院外には持ち出さない。人権の確保についても十分配慮し、当該研究以外の利用は行わない。資料は研究責任者及びそれが任命した研究協力者のみが閲覧する。ただし、当該研究に関連する研究であり、倫理審査委員会承認を受けた場合は指針に則り利用することができるものとする。また、研究成果を学会・論文等で発表する場合は被験者の個人情報を一切含まないものとする。研究終了後は、入力データはパスワードの必要な USB フラッシュメモリーに記録し、鍵のかかる棚に保管する。紙媒体の対応表は管理課の金庫内に保管する。
共同研究機関の有無 (名称、責任者氏名)	なし
備考	

お問い合わせ先：〒300-8585 茨城県土浦市下高津 2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター (電話：029-822-5050)